2021萩観光キャンペーン“屋根のない萩ミュージアム”満喫キャンペーン「日本の志（こころ）がここにある。」

萩

萩市には季節ごとに「花」の見どころがあり「時」を感じる城下町の町並み、創建330年を迎える東光寺の「祈り」、ジオを活用した「大地」や「食」、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」、萩焼に代表される「芸術」があるなど、町中に「おたから」があり「知」る楽しみにあふれている。そこで2021年の観光キャンペーンはコロナ禍でも安心安全に楽しめる萩のまちじゅうにある「おたから」を「花」「時」「祈り」「大地」「食」「産業」「芸術」「知」の8つのテーマとした〝屋根のない萩ミュージアム〟満喫キャンペーン「日本の志がここにある。」を展開する。

キャンペーン概要

季節にあわせた萩ならではの「おたから」を楽しんでもらうとともに「安心安全な観光地づくり」をさらに強化することで観光客が安心して萩観光を楽しみ、観光事業者や市民が安心しておもてなしできる観光地域づくりに取り組む。

その第1弾として「花」をテーマにはじめて花の見どころスポットを巡る「萩の花めぐり観光周遊バス」の運行と「時」をテーマに「はぎ着物ジャック2021〝着物の華で新春の萩を彩ろう！〟」を開催。

花
季節により移り替わる花、市内の名所を巡り花と緑に癒される。
・花めぐり観光周遊バス
・花めぐりツアー

食
近海で250種類が水揚げされる旬の「地魚」。日本在来種で、国の天然記念物である見島牛とオランダ原産ホルスタインを交配させた「見蘭牛」、人気の「長萩和牛」。パン粉で育った「むつみ豚」などの食材と5つの蔵元を擁する萩の地酒、萩ならではの味覚を楽しめる。
・プレミアムランチ（文化財×食×地酒）

祈り
毛利家の菩提寺である東光寺は、今年創建330年を迎える。総門、鐘楼、大雄宝殿が国の重要文化財に指定され、名刹の面影を残している。
・東光寺創建330年記念事業

知
萩じゅうに点在するおたからについて学び、実際に触れるツアーを開催。新しい「萩まちじゅう博物館」を感じられる。
・古地図を片手にぶらり萩あるき
・萩博物館企画展

産業
明治日本の産業革命遺産の構成資産で、日本の近代化を学ぶ。
・世界遺産松下村塾で上田名誉宮司特別講話

時
萩は萩藩祖・毛利輝元から260年間続いた江戸時代の町並みを残し、2015年7月にはその町並みが世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の資産構成「萩城下町」となった。その歴史を感じる取り組みを繋ぎ、萩の時を巡る旅を提案。
・着物ウィークin萩
・萩・竹灯路物語
・城下町萩・堀内散策

「花」「時」「祈り」「大地」「食」「産業」「芸術」「知」の8つのテーマ

東光寺　毛利家墓所

松下村塾

萩八景遊覧船

笠山椿群生林

道の駅萩しーまーと

山口県漁協萩地方卸売市場に隣接し、鮮度抜群の地魚を朝一番で仕入れて提供する道の駅。

新鮮な活魚や鮮魚・農産物をはじめ、焼き抜き蒲鉾や夏みかん菓子、地酒など郷土色豊かな萩の特産品が揃う萩の人気観光スポットにもなっている。

住所は山口県萩市椿東4160－61。

萩八景遊覧船

横目に白壁が続く平安古地区の旧田中別邸を巡る特別コース（約50分）。桜の開花状況により運航期間を変更する場合がある。

新企画として昨年スタートした夕陽観賞コースが6月～8月下旬で運航予定。菊ヶ浜から日本海にゆっくりと沈む夕景を遊覧船から楽しめる。実施時間は日没30分前（19時頃）。所要時間は約30分（予約制）。

運航期間は3月～11月

※但し、天候不良の場合は運休となる場合がある。

受付は3月～10月／9時～16時。11月は9時～15時30分。定時出発ではなく、随時運航。

所要時間は約40分（通常コース）。

定員は8名／1隻。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を減らしている。

料金は大人1200（1000）円、小人600（500）円。（　）内は団体料金（20人以上）。貸切は1万2千円で10人以内。大人は中学生以上、小人は小学生以下。幼児（3才未満）は無料。障がい者割引は100円引きで団体割引との併用はできない。

乗り場は萩循環まぁーるバス（西回り）「萩城跡・指月公園入口　北門屋敷入口」バス停より徒歩すぐ。

萩城下町（菊屋横町）

マフグと白魚のメニュー　（コロナ対策も行われている）

笠山・笠山椿群生林

笠山は、北長門海岸国定公園の中心に位置し、山頂に直径30ｍ・深さ30ｍの小噴火口を持つ、標高112ｍの小さな火山。

ふもとの明神池付近から笠山椿群生林、山頂へは「笠山自然研究路」があり、トレッキングコースとしておすすめ。山頂にある展望台からは、萩市街地や日本海に浮かぶ島々の美しい景色が楽しめる。

笠山の北端（虎ヶ崎）にある椿群生林には、約10haの広さに約2万5千本のヤブツバキが自生している。例年12月頃から開花がはじまり、2月中旬～3月下旬にかけて椿の見頃を迎える。近年は春の訪れが早く穏やかな気候の中で椿鑑賞が楽しめる。

色鮮やかに咲き乱れるヤブツバキの見頃にあわせて、毎年「萩・椿まつり」が開催されている。

住所は萩市椿東越ヶ浜虎ヶ崎周辺。

2次アクセス　高速バス「スーパーはぎ号」

山陽新幹線、新山口駅から約1時間で萩へ直行。高速バス「スーパーはぎ号」運行区間は新山口駅～東萩駅。途中、萩・明倫センター、萩バスセンターにも停車。運行便数は1日8便（4往復）。※運行については事前に確認が必要。

運賃は1600円。観光列車「○○のはなし」と組み合わせることで、下関や長門との観光が便利になる。

観光列車が充実

JR西日本の寝台列車「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」は、下関駅を全5コースの内、1泊2日の4コースで出発駅または到着駅となる。萩では「山陰コース（下り）」で2日目の立ち寄り観光を実施。

明治維新の精神的支柱であった吉田松陰ゆかりの地を訪れるとともに、屋敷入口」バス停より徒歩すぐ。

観光列車「○○のはなし」が好調

JR西日本では、2017年8月5日から山陰線（新下関～下関～長門市～東萩駅）で観光列車「○○のはなし」（まるまるのはなし）の運行を昼行特急列車として運転。昼間の長距離列車を楽しめる。

国指定重要文化財であり萩藩の御用達を勤めた豪商菊屋家の庭園と屋敷などを訪れる。

松陰神社・松下村塾（世界遺産）見学では、神職による講和と解説。菊屋家住宅ではガイドによる案内と新庭公開が楽しめる。

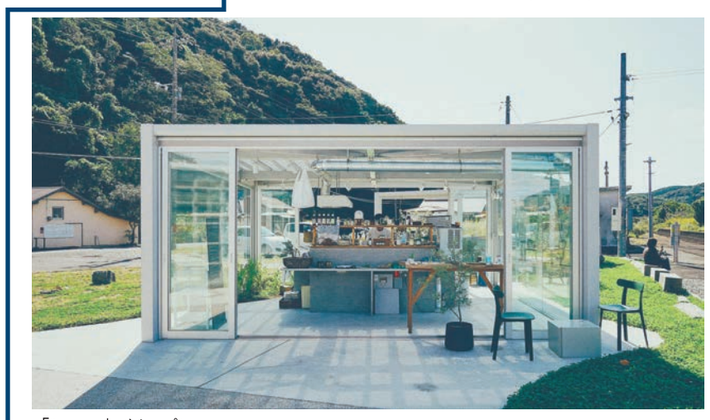
「WEST EXPRESS 銀河」は山陽コースとして大阪～下関を昼行特急列車として運転。昼間の長距離列車を楽しめる。

下関着では立ち寄り観光が充実した。2020年8月に山陰線阿川駅に地元事業者の店舗「Agawa」がオープン。下関市豊北町阿川地域や沿線地域の食材を使った料理やドリンクのテイクアウト、地元こだわりのお土産販売を行うカフェ。山陰線阿川駅では、老朽化していた駅待合室も新設された。

道の駅センザキッチンとあわせて、2カ所で買い物ができる。当面は販売カウンターでの飲食物の販売は行わないほか、車内のイベントも実施しない。予約制のこだわりの弁当は販売される。

快速列車（全車指定席）の2両編成で主に土日祝日、1日1往復の運転。運賃の他に指定席券（530円が必要）。

「WEST EXPRESS 銀河」外観


「Agawa」がオープン

観光列車「○○のはなし」外観

問い合わせ先
一般社団法人 萩市観光協会
〒758-0061　山口県萩市椿3537－3
TEL：0838－25－1750
萩市観光協会公式サイト HAGI
https://www.hagishi.com/